

# B-ism

No.6

佛教大学

佛教大学広報誌  
mokuji

- 2 巻頭特集 Special CROSS TALK
- 6 hot-TOPICS. 大学の動向
- 8 クラブ・サークル見聞録／俳句大賞
- 10 「B-L.L.研究報告」
- 12 学生編集室の窓
- 14 「密着！松田ゼミ」
- 16 輝き Close Up
- 18 Listen UP—OB・OG訪問
- 19 Favorite「先生のお気に入り！」
- 20 B-Information

# B-ism

No.6

発行日  
2013年(平成25年)6月12日

発行者  
山極 伸之

編集者  
広報委員会

編集・発行  
佛教大学広報課  
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96  
TEL 075-491-2141(代表)  
www.bukkyo-u.ac.jp/  
www.bukkyo-u.ac.jp/mobile/

撮影場所 園部キャンパス

# 「京都」が、教えてくれること。それぞれの観点から語られる、「永遠の都」の姿とは――

仏教学部仏教学科 准教授

**伊藤 真宏**

ITO Masahiro

文学部中国学科 准教授

**瀬邊 啓子**

SEBE Keiko

歴史学部歴史文化学科 教授

**渡邊 秀一**

WATANABE Hidekazu

歴史学部歴史文化学科 教授

**原田 敬一**

HARADA Keiichi

|| 司会 進行

千年の歴史を持つ古の都、京都。794年の平安遷都以来、長い年月をかけて醸成されてきた歴史と文化は、今なお人々を魅了してやまない。  
今回の対談のテーマは、ずばり「京都」。佛教大学が学び舎を構える“永遠の都”について、本学の先生方が一堂に会し、語り合う。  
知られざる事実から興味深いトリビアまで、京都の今昔が見えてくる“京都シンポジウム in 佛大”の開幕だ。



## 京都の研究には 客観的な視点が必要

**原田** 「京都」について、伊藤先生からは仏教学・浄土学、瀬邊先生には文学、もしくは中国との関連性、渡邊先生からは歴史地理学の視点で、お話を伺っていきたく思います。

**伊藤** 本学は、浄土宗との開祖である法然上人の教えを拠り所にしており、学生は入学当初に祖山参拝として京都市東山区にある知恩院にお参りします。知恩院には本学の「建学の碑」があるなど、いわば佛教大学の原点とも言えるべき場所です。

法然上人は知恩院の場所を基点にさまざまな階層の人に法を説き、教えを広めました。布教を始めて20〜30年の間に、約200人の直弟子がおり、各々約100人の信者が付いていたとすれば、2万人ほどの信者が京の都にいたと考え

られます。本学がキャンパスを構える紫野にも、「紫野門徒」という弟子の集団がいました。そういう事実からも本学と法然上人、浄土宗との深い縁がわかりただけだと思います。

**渡邊** 私は歴史地理学の観点から京都の研究が続けていますが、同じように京都を追究したいという学生は少なくありません。ただ、京都出身の学生の場合、出身地であるがゆえに事実とは異なる「伝説化された京都」を信じ込んでしまっているところがあって、それが科学的な真実解明の妨げになるケースがあります、永い歴史を持ち、伝説的な話も多くある京都については、京都出身ではない人間の方が研究しやすいのではないかと、思うことがあります。

**原田** 京都の研究には客観的な視点が必要だということですね。私も大阪で育ち、就職で京都に来たわけ

ですが、古くから京都の人がよく使うのが「この前の戦争と言えば…応仁の乱」という言い回し。幕末でもなく、アジア太平洋戦争でもなく、京都人にとっては「いまだにそういう認識があるみたいですね」。

**渡邊** そうですね。京都の良さを語りますが、府外から来た人間からすると、必ずしも利点ではなかったりする。逆に外の人間が良いと評価している点も、京都人にとっては何でもないものだったりもする。京都の歴史観や地理観は、外から見るか内から見るかで異なるようですね。

## 比叡山の持ち主は 京都が滋賀か

**原田** 最近、「琵琶湖疏水」の歴史に関する講演の依頼をよく受けるんですが、京都の小学校では、琵琶湖から京都市へ疎水（水

路）を使って水を運んでいると教えているのに、琵琶湖がある滋賀県では教えないうと聞きました。これは1880年代に疎水を造るという計画が持ち上がった際に、滋賀県が琵琶湖の水を持ち出されては困ると、反対した事実が関係しているようです。

また、比叡山延暦寺が「古都京都の文化財」の一環としてユネスコの世界遺産に登録されたとき、あれは京都のものではないと抗議があったと。

**伊藤** 鎌倉時代に鴨長明が京都で書き記した「方丈記」にも、琵琶湖の汨濫の様子が描かれています。その当時から京都では、琵琶湖、比叡山は京都と一体であると認識されていたかもしれない。平安時代には延暦寺、密教、加持祈祷が都に住む貴族の支持を得ていま

すし、比叡山で修行をした僧侶も都で布教を行う。荒行で知られる「千日回峰行」でも、京都大回りがありますね。

**渡邊** いずれも行政上は確かに滋賀に属しています。ただし、比叡山の持つ文化的、歴史の意味は京都が作り出したものでしょう。私は滋賀の住民ですが、そう思いますね。



新1号館には  
楽しい教室が  
たくさん!!



■ エントランス

天井はふきぬけになっていて、開放的。教室移動の際にも気分をリフレッシュすることができます。



■ 理科実験室

広く使いやすくなった理科実験室は「隠れる洗い場」が特徴です。実験室前には大学所蔵の貴重な資料を展示しています。



■ 図工室

主に教育学科・社会福祉学科の学生たちを中心に図画工作や造形表現を学びます。電動糸のこなど設備も充実しています。



■ ラウンジ1(円形ラウンジ)

窓から光の差し込む円形ベンチで、友達や仲間と交流できます。広々とした過ごしやすい空間です。



■ ラウンジ2(畳)

畳が敷かれ、靴を脱いで座っておしゃべりできる「くつろげるラウンジ」です。



■ サンサーラ

3階と5階に学生が自由に使用できるPCコーナーがあります。合計69台のPCが設置されています。



■ 進路就職課

資料コーナーやオープンスペースも広くなり、またキャリアカウンセリングルームも課内に設置される等ワンストップ型で利用しやすくなりました。



■ 通信教育課程事務局

4号館から1号館に移動し、明るくきれいになりました。



開放感抜群の  
カフェテリアや  
PCコーナーは  
学生に大人気!

B-ism

2013  
June

おしゃべり清潔な  
パウダールームが  
うれしい!



■ トイレ

女子トイレには三面鏡、コンセントを設置しており、気軽に身だしなみを整えることができます。



紫野キャンパスリニューアル

1号館第Ⅱ期工事が完了しました!

各教室の機能性アップはもちろんのこと、さまざまな空間を設け、ワクワクするような学びと寛ぎのスペースに仕上がっています。簡単におすすめポイントをご紹介します。



新1号館

学生食堂カフェテリア

カラフルな色彩の椅子は、本学のロゴマークに因んでいます。新設されたカフェバーカーでは焼き立てのパンを販売しています。

B1F

# 第6回佛教大学 小学生俳句大賞 結果発表



応募数は、低学年の部15,582句、高学年の部23,679句、合計39,261句。  
国内だけでなく、マレーシアやアメリカからもご応募いただきました。  
厳正な審査により選ばれた入賞作品を発表させていただきます。



## 高学年最優秀句

**お年玉ママのじやないよぼくのだけ**

兵庫県 伊丹市立鈴原小学校 2年 馬瀬 樹

## 低学年最優秀句

**せんたくき昨日のユズの香りする**

大阪府 豊中市立野畑小学校 5年 中谷 麗夢



**みんなの士気向上中！  
剣道に没頭しています！**

社会福祉学部 社会福祉学科4回生  
酒井 祐斗さん

部員は約30名。僕を含めほとんどが入学前からの経験者です。

全国大会である全日本小学生剣道選手権大会には団体の部で5年連続出場中。昨年は京都府と滋賀県の大学が集まる、京滋学生剣道大会において準優勝という過去最高の成績を収めることができました。全国的にも強豪大学がひしめくこの大会での好成績は今部全体のモチベーションになっていく土気も向上しています。これまでは予選を勝ち上がり出場することが目標になっていた全国大会でも、それに満足せず、全国で勝つという高い目標を掲げるようになりまし。チャレンジして失敗するよりも、チャレンジせずに終わることのほうが怖い。そんな意識を持ちながら週5日の稽古に汗を流しています。



## 剣道部

## クラブ・サークル見聞録

彼は

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、  
佛教大学のクラブ、サークルといった課外活動団体の彼は（あれこれ）を  
部員が自ら紹介、語ってくれます。



活動日:月曜・火曜・水曜・金曜・土曜  
活動場所:紫野キャンパス、  
武道センター(京都市内)

古に汗を流しています。

現在は、打ち込みや竹刀の握り方、構えの確認といった基礎的な稽古を繰り返している、剣道にとって大切な集中力を養っています。合宿は例年、兵庫県の淡路島で夏、同県の豊岡市で春に実施。みっちり稽古を積みまします。もちろん息抜き時間ももちろんあります。稽古ははたしてですが、楽しいこともたくさんあります。

指導者である中嶋力都監督は、佛教大学の職員であり部のOB。熱心な方で、厳しい時もありますが、部員との会話を大事にしてくれる監督です。大学生の心を持った大人」といった感じでしょうか。

実は僕は、大学では剣道をするつもりはありませんでした。先輩に誘われ結果的に入部したのですが、良かったと思っています。何か没頭できるものがあることは、幸せなことです。また、社会に出れば必要となる上下関係をはじめとした、人への接し方も、部では学べる。本当に充実しています。

## 手話サークル「なまけもの」



### 自分の世界が広がる 「コミュニケーション方法」

保健医療技術学部 作業療法学科3回生  
村佐 香苗さん

サークルの歴史は古く、今年で40年目を迎えます。記念イベントとして今年の12月に、歴代の先輩方をお招きしてのコンパ、記念誌の発行を計画。今年はずいぶん忙しいので（笑）。

活動は毎週水曜日、手話を使ったゲームや手話の学習会を行い、手話の技術向上に努めているほか、聴障学習と言って聴覚障がいの方の理解を深めるための勉強会もしています。時にはボランティアで小学校に手話指導に出掛けたりすることもあります。そのほか、大学からの要請で、聴覚障がいの方のために講義の内容を書き写すノートテイクや、通訳もさせていただいています。ノートテイクに関しては学内で勉強会も開いています。



活動日:水曜  
活動場所:紫野キャンパス

大学の文化祭である鷹陵祭が、私たち最大のイベント！昨年は曲に合わせて歌詞を手話で表す手話コーラスや、セリフを手話で表現しながら演じる手話劇を披露しました。かなり難しかったので、鷹陵祭前には活動日以外にも、みんなで何度も練習しました。楽しい雰囲気魅力のサークルですが、この時は教室に緊張感が張り詰めていましたね。発表したコーラスや劇は他大学の手話サークルとの交流会で再び演じたりするつもりも。

メンバーのほとんどが手話を大学から始めた初心者ばかり。中には、個人的に地域のサークルで、積極的に学んでいるメンバーもいて、そういう人は上達が早いですね。でも、普通に1年ぐらいわれば、ゆっくりとした会話はできるようになりますよ。

手話は言語であり、コミュニケーション方法の一つ。身につけることができれば、会話をする人が増える、そして、自分の世界が広がります。やさしく教えますので、ぜひ見学に来てくださーいね。

## 〈優秀賞〉

**タイランドはじめてきたせみの声**

マレーシア ペナン日本人学校 2年 岩國 安珠

**雪達が夜に「こそりこんぼんは**

兵庫県 朝来市立中川小学校3年 石田 奈々

**手の中の氷にえがおうつつる**

群馬県 前橋市立駒形小学校 3年 岡田 都那海

**白い雲なんだが白いマンローだ**

兵庫県 姫路市立津田小学校 3年 吉岡 優太郎

**プクプクとかもめの昼ね夏の青**

京都府 京丹後市立大宮壱小学校 4年 田嶋 葵南

**いじめはね心が風邪をひいてる**

京都府 宇治市立御蔵山小学校 5年 植村 莉早

**じいちゃんどビール飲むまであと八年**

広島県 東広島市八本松小学校 6年 高木 裕大

**おもちゃき丸める前に口の中**

大阪府 堺市立北八下小学校 6年 中野 カノ

## 〈選考委員特別賞〉

**おみこしの神様だんだん重くなる**

東京都 板橋区立中根橋小学校 3年 高松 将吾

**寒いねとおはようよりも先に言う**

兵庫県 姫路市立白浜小学校 6年 山田 真衣

**プロローグもじゃもじゃ頭にマヨネーズ**

新潟県 十日町市立吉田小学校 3年 丸山 友恵

**シリウスと私は友達また会おう**

京都府 京都市立朱雀第七小学校 5年 外川 日向

**春の風百点とれたはよ帰る**

大阪府 大阪市立啓発小学校 3年 木下 渚

**六十円暑さをのりきるガリガリ君**

京都府 八幡市立橋本小学校 6年 定光 郁斗

**今日の月半分がじつだれだろう**

京都府 京都市立藤ノ森小学校 2年 柴田 陽生

**こつこつは山が楽しむら絵だよ**

大阪府 吹田市立千里第二小学校 6年 吉田 聖

**とれたてのキュウリをあぐしめいたかった**

神奈川県 葉山町立葉山小学校 2年 須田 匠

**まじどのね落ち葉がほくの家の前**

鳥取県 八頭町立大正小学校 4年 中村 圭吾

**カマキリにへんしん草取り全校で**

青森県 風間浦村立乾浦小学校 3年 駒嶺 謙

**雪道に足跡つけたハート型**

大阪府 茨木市立立河原小学校 6年 金藤 伶奈

# 「人間の心は、変わる力を持っている」 臨床心理から人間の苦悩を理解する

教育学部臨床心理学科 准教授 **石原 宏**



人間には生きていく上で、決して逃れられないことがある。悩むことは、最たるものの一つではないだろうか。人は常に何らかの悩みを抱え生きている。なぜ人は悩んでしまうのだろう、石原先生は臨床心理学の観点から答えを導くべく、今日も人のために悩み続けている。

説明を必ずしも求めないし、分析的な話をすることも少ない。「せっかく表現できたことを性急に言葉にして意味を限定してしまうよりも、むしろさまざまな可能性を生かしたまま見守り、共感することに全力を注ぐんです」。

**受け止めるという態度が人の悩みの理解につながる**

「どうせ死ぬのに、なぜ生きるのか。どうせお腹が減るのに、なぜご飯を食べるのか。子どもの頃からそんなことばかりを考えていました」と語る石原先生の悩みは、人間の根本を問うようなものばかりで、とても解決できそうにはなかった。が、高校生の頃、そんな悩みを持ち続け

ていいと思える学問と出会う。臨床心理学だった。臨床心理学は、生きるとは何か、その空しさとは何か、そんなことを考えていても仕事になる（笑）。日本の臨床心理学の先駆者である故・河合隼雄氏の研究に触れる中で、悩みや心の病を抱えた人の支援にあたる学問に惹かれていった。

選ぶ時に、どんな風に心が動いているのかを理解する必要がある。もう一つ温めている研究テーマがある。人間はなぜ悩みを抱えてしまうのか、という問題だ。「例えば、箱庭のアイテムで言えば大きな荷物を持った人形を見て、重そうだなとか、山登りかな、と想像するでしょう。しかし、実のところ人形は人形でしかなく、重さを感じたり山登りをしたりはしない。想像をする能力は人間の心を豊かにする素晴らしいもので治療のヒントもこの力にある一方で、その同じ力が苦悩を

れを何もかも受け止めるんです。箱庭を通して見せる一切を受け止めるという態度が、その人自身を、悩みを理解することにつながるという。その人の「自然なもの」を知ることが何よりの達成感

説明を必ずしも求めないし、分析的な話をすることも少ない。「せっかく表現できたことを性急に言葉にして意味を限定してしまうよりも、むしろさまざまな可能性を生かしたまま見守り、共感することに全力を注ぐんです」。

なかった、その人が本来持つその人らしさを見せる瞬間に遭遇する。それがこの仕事における私の最大の達成感かもしれない。

き、しっかりと関心を向けながらただ受け取っていく。そのことだけでも、子どもたちの自然な心が動きはじめ、変化が起きてくる。

「例えば友人は私を良く思っていないのでは？ 親は私を愛していないのでは？」誰もそんなことを言っていないけど、想像して悩んでしまおう。人生を充実させる力が、一方で人生の苦しみを生んでいるのかもしれない、と石原先生は考える。

「例えば友人は私を良く思っていないのでは？ 親は私を愛していないのでは？」誰もそんなことを言っていないけど、想像して悩んでしまおう。人生を充実させる力が、一方で人生の苦しみを生んでいるのかもしれない、と石原先生は考える。



これは、モノや事柄に勝手に私が想像して意味をつけているに過ぎない。その人独自の現実への意味づけ方の理解。クライエントの理解。それを認識すれば例えば罪を犯した現実が変わらなくても、罪を犯した子ども本人にとってその現実への意味づけが変わっていくことはあり得るのだ。

石原先生が十数年取り組んできた非行少年との心理臨床でもそんな場面を多く体験してきた。「罪を犯した子どもたちには、劣悪な生活環境で育った場合が少なくない。そんな状況下で自分を理解してもらえず、非行という自己表現の方法をとっていたというケースも多い」。

「臨床心理が面白いのは、臨床心理学を学んでも、人の心はわからないということ。わかってくるから。万人に通じるお手軽な答えはない。そこに石原先生の空しさの

「例えば友人は私を良く思っていないのでは？ 親は私を愛していないのでは？」誰もそんなことを言っていないけど、想像して悩んでしまおう。人生を充実させる力が、一方で人生の苦しみを生んでいるのかもしれない、と石原先生は考える。

「例えば友人は私を良く思っていないのでは？ 親は私を愛していないのでは？」誰もそんなことを言っていないけど、想像して悩んでしまおう。人生を充実させる力が、一方で人生の苦しみを生んでいるのかもしれない、と石原先生は考える。

「私は、心は変わると知っていますし、変わっていく力を人間誰もが持っているというのを信じて、人と出会っています」。



石原 宏(いしはらひろし) 大阪府生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程学修認定退学。京都大学大学院教育学研究科助手を経て、2006年より現職。博士(教育学)、臨床心理士。専門は心理臨床学。主な論文「クライアントとセラピストの関係の違いが箱庭表現に及ぼす影響についての一考察」(「教育学部論集」第24号・2013年)、「制作者の主観的体験からみた箱庭療法に関する研究」(「京都大学大学院教育学研究科提出学位論文」・2007年)など。

ならば、人間は悩みから一生解放されないことになるが、臨床心理は何ができるのか？「まだわからない。でも、現実とは変わらなくても現実への意味づけは変わっていく。例えば私は先端恐怖症のなごころがあって、先の尖ったものを向けられるとこっちへ飛んできて目に刺さるような気がしてしまいます。こ





社会福祉学部2回生  
矢島 由加利 平松 愛  
(やしま ゆかり) (ひらまつ あい)  
玉井 龍一  
(たまい りゅういち)

Action! オープンカレッジ ひだまり  
同年代の知的障害者との学習交流

「ひだまり」は、障害者団体と連携しながら、「知的障害・発達障害者への生涯学習」講座を開いています。社会に出て働いている障害のある方々と佛教学部の学生と一緒に学ぶ場です。通いたくても通えなかった大学の雰囲気や味わい、大学特有の自由な場、自分の意見を言うことができる環境作りを目指しています。どこまでできるのか分らず、悩むことも多いですが、学生全員で意見を出し合いながら参加者も学生も新たな発見ができる、楽しい授業です。



毎月第2土曜日の朝、路上生活者への炊き出し活動に参加しています。配給のお手伝いのほか、相談を受けることもあります。

毎週木曜日に京都駅で行われている夜回りにも、月1~2回ほど参加し、路上生活者の安否確認などを行っています。当事者から話を聞くことで、どのようなことに困っているのか、私たちでは思いつかない視点に気づかされます。ほかにも学生イベントとして、炊き出しに季節の一品を提供したり、学習旅行をしたり、学びを深めながら、喜んで頂ける活動をしています。



社会福祉学部3回生  
松田 浩佑  
(まつだ こうすけ)



Action! 路上生活者支援  
炊き出しや夜回りでの安否確認も

地域福祉フィールドワークの実践

学生、地域、福祉団体がともに歩むプログラム

本学の福祉教育開発センターの事業のひとつで、今年で5年目を迎えます。社会福祉実習の補完的役割として、学生が主体となって地域に入り、様々な活動を行っています。2008年に小野郷学区の地域支援から始まり、今年は福祉団体(保育所やNPO法人、児童福祉施設、当事者団体)と協働しながら、7つのプログラムを行います。

暮らしの知恵を学ぶと同時に、その暮らしを支えるには何をすれば良いのかを一緒に考えていきます。将来、福祉現場で力を発揮していくにあたり、実習や講義だけではなく、生の人々の声から社会や地域の問題を知り、支援について学んでいます。

今回は7つのプログラムの中から、4つを紹介します。



「み・かん・て・い・いな」

お互いに気持ち良いコミュニケーションを取るために、出来てますか?

み(見たこと)、かん(感じたこと)、て(提案)、い(yesの場合)、いな(Noの場合)が適切な自己表現のコツになります。

「み」は、適切に状況を把握する。「かん」は、自分の気持ちを表現し相手の気持ちを共感する。「て」は、相手に望む行動や解決策を提案する。「い」は、「yes」と答え、「いな」は、「no」と答える。この答えが大切で、「No」の場合は選択肢を再提案することで、相手もストレスを感じないコミュニケーションが取れるようです。

なうな掌話 その十



編集後記

B-ismの原稿を書く中で、「せっかくの機会だから、他の活動がどのようなことをしているのか、活動に携わっている学生から声を聞こう!」という提案があり、編集会議を行いました。これまで学生同士で各活動を超えての情報交換を行っていなかったため、「目からウロコ!」状態でした。それぞれ活動内容が異なりますが、活動を行っていくために必要なこと、そこで得た学び、運営の工夫など、意見を交換することで、これまでとは違った視点で自分たちの活動を振り返ることができました。



社会福祉学部3回生  
田伏 規恵  
(たぶし のりえ)  
永竹 麻美  
(ながたけ まみ)

社会福祉学部4回生  
奥村 蓉子  
(おくむら ようこ)  
甲元 眞菜美  
(こうもと まなみ)

Action! 子育て支援  
保育園で親子の絆を深める

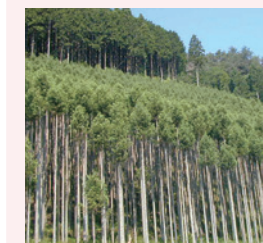
社会福祉法人妙秀保育園での地域子育て事業に協力しています。子育て支援とは、単に子どもを保育するだけではなく、親を支援することも含んでいます。私たちが主体的に遊びを提供し、一緒に行うことで、より良い親子間のコミュニケーションを促進し、ストレスの軽減や絆を深めることができます。

保育を学ぶ学生が、地域子育て支援を学ぶ貴重な機会、実習前に体験学習することで、実習への不安を少しでも軽減できます。そして何よりも、「親子の笑顔」を支える仕事のやりがいに出会えます。



社会福祉学部4回生  
渡邊 楓  
(わたべ かえで)

小野郷へいこう! 住民・学生の協働でくらしを支える



京都市北区の中でも過疎化が進む山間地域の小野郷地域において、地域の方々や社会福祉協議会、区役所、福祉関係者などと一緒に、高齢者の生活支援や地域活性化に向けた活動を行っています。

例えば、夏祭りや神社のライトアップといったイベントに参加し、地域を盛り立ててきました。先日は川柳大会を開きました。面白いものから風情のある作品まで様々な川柳ができ、多いに盛り上がりました。

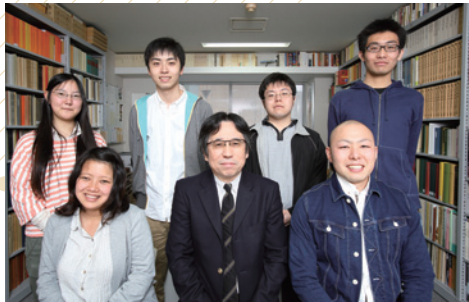
地域の方々だけでなく、学年問わず学生同士も交流でき、刺激し合える取り組みです。

ある日の松田ゼミ

私は、  
仏教の源流を知りたいのです

パーミヤン渓谷で発見された仏教写本の解説という成果は、高く評価されており、テレビや新聞紙上でも多く取り上げられた松田先生。この日は、仏教やインド思想に興味を持つきっかけとなったという、ドイツのノーベル文学賞受賞者であるヘルマン・ヘッセの小説「シッダールタ」の解説に加え、自身がなぜインド仏教を研究し続けているのかを話してくれた。

「仏教は川の流れるに例えることができると思います。インドで生まれたブッダという源流から、その教えがどんどん流れていって人々に広まりました。しかしやがて、その過程で他の思想などが支流から流れ込んできて、ブッダのそもそもの教えとは異なるものになってしまったと私は考えています。仏教を“ピュア”なところから勉強したい、ブッダが何を言いたかったのか、伝えたかったのか、ブッダの教えそのものを学びたい、だからインドの仏教、原典を研究している。そして、仏教とは何かを知るためにパーミヤン渓谷で発見された文献をはじめ、生の古い資料を探っているんです」。仏教の源流はまだまだわからないと言う松田先生だったが、学生たちは先生の原点を少し垣間見ることはできたようだった。



量であるため、全ての文献を解読するまでにはまだまだ時間を要する。「とても興味深い。タリバンが破壊した大仏から少し離れた石窟寺院址から出土したと伝えられています。本学でもギルギット出土の三葉を購入しましたが、大半はノルウェーの実業家がい取って所有しているため、今なおノルウェーのオスロを時々訪れ、ヨーロッパの研究者たちと共同で解読作業を続けています」。ただ、ここでも「残念ながら、私のゼミ生には、大学院に進んでもっと語学の勉強をしないと直接関わるのではないかと

きない世界ですね」と手厳しい。そんな松田先生のゼミでの役割は、学生のテーマに対する文献資料の提示や、質問に答えること。松田ゼミを選んだ理由は、先生の研究と近かったからと話すゼミ生の卒業テーマは、実際のところ多種多彩。大乘仏教、仏教哲学、さらにはサンスクリット語で書かれたブッダの物語の研究など、「全部が全部、私の専門研究と近いわけではない」と先生自身苦笑いするほどだが、いずれにおいても的確に学生の疑問に答え、正しい道へ導いてきた。

現在は、ブッダの対機説法(相手の素質や能力に応じて教えを説くこと)をテーマにしている学生は、当初「なぜ日本人は感謝するときに手を合わせるのか」について調べようと考えていたが、松田先生が制止。「仏教の勉強は、過去の書物・文献を読むのが出発点。彼のテーマではそれら資料を見つけ、絞り込むのが困難」。卒業は、限られた時間の中で完成させなければならぬ、資料の選定がうまくいかなければ、それだけ遅れをとってしまふ。彼は先生のアドバイスを受け、新たなテーマで邁

進している。そのほか、チベット仏教について書きたという学生には、仏教について意外と高度なことが書かれているチベットの中学生が使用している教科書を資料とすることを薦めるなどして、学生に確たる指針を与えてきた。時に厳しい言葉を投げかける松田先生だが、ゼミ生はそれを真摯に受け止めている。何より先生の話の面白さや人柄に惹かれている様子で「仏教をとててもわかりやすく解説してくれる」「信仰心がなくても仏教を学んでもいいんだと教えてもらった」と話す。今は就職活動も忙しく卒業論だけに集中できていないゼミ生たちだが、早く松田先生に「良い報告」をして、本格的に取り掛かりたいと考えている。

松田先生の「自由なゼミ」が実を結ぶときは、すぐそこまで来ている。



「自由」な卒業ゼミで、  
それぞれの仏教を探求する

仏教学部 仏教学科教授  
松田 和信

インド仏教研究の分野において、数多くの成果を挙げてきた松田和信先生。現在は主に、パーミヤン渓谷で発見された貴重な仏教写本の解説・研究を続けている。そんな松田先生の4回生ゼミの厳しくも楽しい雰囲気、今回は触れてみることにしよう。

松田 和信(まつだ かずのぶ)  
1954年、兵庫県赤穂市生まれ。大谷大学卒業、同大学院博士課程満期退学。オランダ・ライデン大学での2年間の研究生生活を経て本学に着任。専門はインドと中央アジアの仏教文献。この数年はヨーロッパの研究者たちと共同でアフガニスタンとパキスタンから発見された仏教写本の解読に取り組んでいる。主な著書「論文「スコイエン・コレクションの仏教写本」(英文、共著、現在3巻までオスロより刊行、2000-)、「中央アジアの仏教写本」(2010)、「パーミヤン写本から見た大乘仏教」(2011)など。

「どうぞ、適当に好きな所へ座ってください」。自らの研究室兼ゼミ教室に取材陣を迎え入れた松田先生は、開口一番そう話した。好きな所? なるほど、松田先生の研究室には、当然机の周りにも椅子はあるが、窓際や本棚の脇など随所に椅子が置いてある。机に集まって座っている学生たちに聞いてみると、普段はバラバラに腰掛けて授業を受けているという。今日は取材があるので「一応」集まっているのだそうだ。「狭い部屋ですから、せめて好きな場所でリラックスして勉強すればいいと考えているだけです」と、先生は笑いながら言った。

ゼミ生は皆4回生で、昨年からの引き続き松田先生の下で学んでいる。「このゼミは卒業論文を書き上げるためのゼミ」と先生が語るように、一人ひとりが研究テーマを持って臨んでいるので、全員で松田先生の講義を聞いたり、全員で同じ

レジュメや教科書を開いて勉強することはない。各々が各々の卒業論のために勉強し、お互いの進行状況を確認し合ったり、時々は中間報告会を開いて皆で聞いて議論をしたり、松田先生の「厳しいツッコミ」を受けたりする。椅子が至る所にあるというのも納得できる、きわめて自由なゼミ体系なのだ。松田先生の専門はインド仏教。現在は特に、1990年代の中頃にアフガニスタン中部の世界遺産、パーミヤン渓谷や、パキスタンのギルギットで発見された仏教写本の断簡の解読に挑み続けている。

写本は全て椰子の葉や白樺の樹皮などに古代インドの言語で書かれたもので、大きくても長さ50センチほど、小さな破片をあわせる約一万点にも上る。2、8世紀頃に書写されたと推定され、内容は当時の僧侶の規則、ブッダの言葉などさまざま。とにかく膨大





文学部 中国学科3回生 白井 康介さん

## オリジナル参考書の完成と 希望を語れる教師をめざして

### 漢文訓読にのめりこむ日々

「漢文に興味を持ち始めたのは、高校生のときです」。白井康介さんは、授業で知った漢文に心を動かされた。でもそれは作品や思想に共感したというわけではなく、「日本語として読める」ことへの疑問からだった。

漢文は、いわば中国の古典。外国語であるがゆえにそのままでは日本語として翻訳、解釈することはできない。それを可能にする方法が「訓読」だ。白井さんは訓読に触れ、漢文を日本語として理解する楽しさに目覚めた。

訓読とは、日本語とは語順の異なる漢文を、漢文の原型をまえずに符号を付けて、日本語の語順となるように翻訳する作業のこと。白井さんは、漢文を専門としていた高校の先生に指導される中で訓読にのめりこんでいった。だが、やがて壁に突き当たる。

「訓読をするための確かな参考書がなかったんです」。翻訳をしようとしても「辞書」がないのでは、さすがに難しい。絶版とな

り「幻の名著と言われていた」漢文訓読の参考書の再版を数万円で購入するなどして、勉強を続けてきた。

### 憧れの恩師のような先生に

今では訓読の参考書も増えてはきたが、「出版されている参考書は、簡易なものか、緻密すぎるものしかない」と、白井さんは納得していない。そこで現在、驚くことにオリジナルの参考書作りに取り組んでいるという。「訓読を学ぶ人が参考書に求めるのは、言葉や用法に関する索引と目次が充実していること。それらを踏まえ、あまり難しくなく、訓読の楽しさが伝わるような参考書を作りたい」。補語の使用感覚をつかむために江戸時代の訓読法を学ぶなど、試行錯誤を繰り返しながらも、着実に完成に向けて歩みを進めている。

そんな白井さんには、もう一つ目標がある。それは教師になること。「中学校か高校で、国語と中国語を教えたい」。憧れは自分を漢文に導いてくれた高校時代の恩師。「訓読に関する本を僕一人のためだけに何冊も自費で購入してくれた。そして何より、

『ゆとり世代』と皮肉的に言われていた僕らに、気にしなくてもいいと言ってくれた先生でもある。僕にとつてそれは、生きる上での希望になっている。こんなふうに、生徒の人生に希望を与えられるような教師になりたい、そう思っています」。



もちろん、漢文の授業で使用するのには、自作の参考書。「必ず役に立つと信じています」。希望に胸は膨らむばかりだ。

### ジレンマを感じた現役時代

前職は保育士。大阪と京都の保育所で、40年近くを子どもたちのそばで過ごしてきた。「子ども、親御さん、同僚、地域の人たちなど、新人の時からいろんな人に支えられ、励まされて続けてきました」と屈託のない笑顔で語る平野佳津代さんが、ジレンマを感じ始めたのはベテランと呼ばれるようになった頃。保育所内で親の相談相手や子育て支援などに携わる中で、寄せられる悩みに触れた時だった。「子どもを虐待してしまったという相談が多くあったんです。でも当時の私は、話を聞くことしかできなかった」。相談者はそれでも良いと言ってはくれたが、根本的な解決ができない自分を情けなく思った。

社会福祉を学んで、親の助けになり、子どもを救いたい、という思いで奮起。「同じ保育所で働く卒業生や実習生が、本当に真面目で一生懸命」だったことから、本学への入学を決意し、定年退職を

## 子育て支援のために奮闘する、 ”ママさん”大学院生



通信教育課程大学院 社会福祉学研究科  
社会福祉学専攻修士課程1回生 平野 佳津代さん

迎えた2010年、佛敎大学通信課程の編入生として大学生活をスタートさせた。

### 背景を見る必要性

入学当初から、先生も年齢の離れた「同級生」たちも優しく接してくれた。ニックネームは「ママさん」。コンパや「学割を使って」ポウリングにも出掛けるほどに仲良くなっていた。

最高の出来事は、藤松素子先生との出会いだ。「本当に素敵な先生。試験勉強に躍起になっていた私に、『ママさん、鏡を見て、にっこりと笑いなさい』といったメールを送ってくださるんです」。先生から学んだのは、物事の背景を見なければならぬということ。「虐待をする親だけが悪いと決め付けるのではなく、社会的背景を踏まえて、一人親、貧困、DVなどの影響を考慮すべき」と、一歩踏み込んだ見方を教わった。実習では高齢者施設にも行き視野を広げ、卒業レポートでは、「公立保育所が果たすべき子育て支援の役割」についての考察を発表した。

この4月から通信教育課程の大学院へ。「進学理由は、藤松先生の存在と、まだまだ自分の力不足を実感したから」。現在の親子を取り巻く情勢、法律の仕組みなどを深く学んでいきたいと考えている。

夢は「高齢者や子どもが一緒に集える場所づくり」。そこには昔の同僚や友人もいて、みんながみんなを支えあっている。「できたらいいなって、思っているだけ」とはにかむが、ママさんのバイタリティなら決して不可能な夢ではない。





第六回  
教育学部 教育学科教授  
高橋 司先生の巻

# 先生のお気に入り めがね favorite



高橋 司(たかはし つかさ)  
1949年生まれ。4月より佛教大学附属幼稚園副園長を兼務。専門は幼児教育、児童文化。著書に「子どもに教える今日はどんな日?」(PHP研究所)「乳幼児のことばの世界 聞くこと話すことを育む知恵」(宮帯出版社)「パネルシアター 保育・実践講座」(大東出版社)などがある。

「めがねをかけ替える」や「お洒落なめがねをかける」という行為は、幼児教育の教材にもなりません。子どもがそれに気づき、話しかけてくれたらしためたもの(笑)。会話が生まれ、弾み、子どもを知ることが出来る。これは幼児教育における子どもが自発的、意欲的に関わ



私にとって、めがねはいわばパンツと同じ。パンツをはかずに生活する人がまずいないように、私は何をやるにもめがねを外したことがありません。我が家には数え切れないほどのコレクションがあって、毎日かけ替えますし、用途に合わせて使い分けてもいます。選ぶポイントの第一は、やはりかけやすさですね。購入は3、4カ月に一度、京都市北山にあるお店と決まっています。品揃えや仕事ぶりも素晴らしいのですが、店主と私は年齢も近く、スポーツ好き、腰痛持ち、親の介護など、共通点があって話が合ったんです。妻と2人で行って2、3時間話して帰ります。めがねを買いに行くと同時に、人生を語りに行くという感じです。

「めがねを交換もしています。妻や息子のものを私が、私のものを妻や息子が、という具合に楽しんでいました。今年1月に妻が亡くなり、それができなくなりました。先日妻が一番大切にしていためがねを、私用のレンズに替えただんです。今はまだつらくてかけられませんが、いつの日かかけてずっと妻を感じていたいと思っています。」

## 「コミュニケーションの大切なツール」

# 若い時の失敗が 今に生きる

国際イメージコンサルタント「カーベディエム」代表

## 西松 眞子さん

佛教学部文学部仏教学科卒業



西松 眞子(にしまつ まこ)  
京都府出身。平成元年に佛教学部を卒業し、佛教学部職員として勤務。その後、博覧会コンパニオンの指導役を経て、イメージコンサルタントとなり、自己演出法やイメージアップ術など「天然のきらめきから、ナチュラルな自己演出へ」をモットーに、現在幅広く企業研修・講演を行う。単行本のほか、ビジネス誌や女性誌にも執筆している。2001年設立の「カーベディエム」(ラテン語で「いま、を生きる」の意)代表。

「好かれる技術」「男の好感度は、『見た目』で決まる」など、自己演出やイメージアップに関する著書が10冊もあり、企業研修や講演会に引っ張りだこの西松さん。自分の人柄、魅力をどう相手に伝えるか、そのコミュニケーションの方法をわかりやすく教える専門家である。

「でも就職して2年で辞めました。若かったんですね。なんでも簡単にこなせると慢心していて、結局、職場でうまくコミュニケーションが取れず、自分の無能さに気づいて愕然としました」

「不思議ですね。自分からこの仕事をやろうとは思っていませんでした。に、仕事をいただいて。若い時はセミナー調査のアンケート結果を見て『大変良かった』という結果が出たら『やったー』と舞い上がっていましたが、今は自分の評価より『伝えたいことがその方の役に立ったかどうか』をまず考えるようになりました。大学で学んだ仏教の『無心』『利他精神』というものが、卒業後にどうして効いているんだと不思議な気持ちになります」



「子どもなりに生きることに苦しんでいて死を身近に感じたことも。尼僧になりたいとも考えましたが、入学後、浄土宗では女性も剃髪しなくてはならないと知って……。ディスコで踊りたいし、オシャレにも興味があった私は、すぐに挫折しました。でも当時から仏教や寺院は、神秘性がありロマンを感じていたので、仏教を学ぼうと」

「不器用です。自分からこの仕事をやろうとは思っていませんでした。に、仕事をいただいて。若い時はセミナー調査のアンケート結果を見て『大変良かった』という結果が出たら『やったー』と舞い上がっていましたが、今は自分の評価より『伝えたいことがその方の役に立ったかどうか』をまず考えるようになりました。大学で学んだ仏教の『無心』『利他精神』というものが、卒業後にどうして効いているんだと不思議な気持ちになります」

歴史学部

文学部

**2013年度 教員・職員  
新規採用者紹介**  
教員は学科と専門を、職員は所属を表記  
※特別任用教授は学科表記なし  
**NEW FACE**

井上 造 (特別任用教授) ピザソノ帝国史	佐吉 愛己 (准教授) 歴史文化学科 日本中世史、古記録・古文書学	荻原 廣 (特別任用教授) 日本語教育	濱田 泰彦 (講師) 日本文学科 近世文学(浮世草子)
西香 豊子 (講師) 現代社会学科 医療社会学	橋本 忠和 (特別任用教授) 美術教育学	神谷キヨ子 (特別任用教授) 国語科教育、教育方法学	渡邊 照美 (准教授) 教育学科 障害者心理学、生涯発達心理学
鬼頭 泰子 (講師) 看護学科 小児看護学	田尻 厚子 (准教授) 看護学科 母性看護学、助産学	吉浜 文洋 (教授) 看護学科 精神看護学	長瀬 正子 (講師) 社会福祉学科 児童福祉、社会的養護
後藤 小夜子 (助教) 看護学科 老年看護学	木野 寛子 (助教) 看護学科 母性看護学	奥村 真美 (助教) 看護学科 小児看護学	森安 朋子 (講師) 看護学科 成人看護学
杉岡 義次 (実習指導講師) 学校経営、保健体育科教育、道德教育	吉川 陽子 (助教) 看護学科 精神看護学	山根 朋子 (助教) 看護学科 成人看護学(慢性期)	永井 香織 (助教) 看護学科 公衆衛生看護学
徳田 大輔 生涯学習部通信学務課	窪田 聖子 企画部企画調整課	辻 瑠子 教育推進部国際交流課	首藤 花織 学生支援部学生支援課
			井上 直也 二条キャンパス事務部 二条キャンパス事務課

保健医療技術学部

社会福祉学部

2012年度退職教員

仏教学部 佐藤 健(仏教学科 教授)	達富 洋二(教育学科 准教授)	社会福祉学部 岡本 晴美(社会福祉学科 准教授)
文学部 水谷 隆之(日本文学科 准教授)	竹内 晋平(教育学科 講師)	今川 奈緒(社会福祉学科 講師)
教育学部 津田 俊子(教育学科 教授)	社会学部 浜岡 政好(公共政策学科 教授)	教職支援センター 中室 清文(実習指導講師)
	清水 陽子(公共政策学科 講師)	

坪内稔典(文学部教授)[文] 福音館書店 2012年12月1日 410円	坪内稔典(文学部教授)監修 主婦と生活社 2012年11月5日 1,260円	藤本浄彦(仏教学部教授) 法蔵館 2013年4月30日 2,520円
高見 仁志(准教授) 教育学科 学校教育学(音楽教育)、教師教育	高見 仁志(准教授) 教育学科 学校教育学(音楽教育)、教師教育	野間正二(文学部教授) 持留浩二(文学部准教授) 佛教大学 2012年3月1日 1,250円
寺川 志奈子(教授) 社会福祉学科 発達心理学、障害児保育	寺川 志奈子(教授) 社会福祉学科 発達心理学、障害児保育	野間正二(文学部教授) 持留浩二(文学部准教授) 佛教大学 2012年3月1日 1,250円
濱吉 美穂(講師) 看護学科 老年看護学	濱吉 美穂(講師) 看護学科 老年看護学	高見 仁志(教育学部准教授) 明治図書出版 2013年3月1日 1,953円
清水 知子(助教) 看護学科 臨床看護学、成人看護学	清水 知子(助教) 看護学科 臨床看護学、成人看護学	高見 仁志(教育学部准教授) 明治図書出版 2013年3月1日 1,953円
井上 直也 二条キャンパス事務部 二条キャンパス事務課	井上 直也 二条キャンパス事務部 二条キャンパス事務課	高見 仁志(教育学部准教授) 明治図書出版 2013年3月1日 1,953円



入試に関するお知らせ

オープンキャンパス

[日時] 7月21日(日)・28日(日)、8月4日(日)、10月13日(日) 各日10:00~16:00

[場所] 紫野キャンパス・二条キャンパス同時開催

公募制推薦入試

試験日	出願期間	試験会場
11月20日(水)・21(木)・22(金)	10月30日(水)~11月6日(水)(11月7日(木)持参日)	本学(紫野キャンパス)・金沢・名古屋・彦根・舞鶴・大阪・神戸・奈良・和歌山・岡山 ※11月22日(金)は本学・大阪のみ実施

通信教育課程に関するお知らせ

BUまなび隊(公開講演会)開催予定 BUまなび隊は通信教育課程が開催する地方オープンキャンパスの呼称です。

日程	都市	会場	講演内容	申込方法
9月1日(日)	大阪	大阪市中央公会堂	昨年度は『生涯にわたり学ぶということ』をテーマに行いましたが、今年度はさらにそれを深めた内容を検討しています。	詳細は7月下旬頃に、通信教育課程HPに掲載予定です。

宗教文化ミュージアム イベントカレンダー(2013年6月~12月)



**宗教文化ミュージアム**  
宗教文化に関する有形・無形文化財の調査・資料収集および保存・公開、宗教文化情報の高度利用化などを行い、その成果を広く公開しています。

- アクセス**
- JR京都駅より京都市バス、「山越」より徒歩13分
  - 京阪三条駅より京都市バス、「山越」より徒歩13分、「広沢池・佛大広沢校前」すぐ
  - 佛教学紫野キャンパスより京都市バス、「山越」より徒歩13分、「広沢池・佛大広沢校前」すぐ
- お問い合わせ先** 宗教文化ミュージアム  
〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26  
TEL:075(873)3115 FAX:075(873)3121

5月25日(土)~6月23日(日)	春期特別展 「法然上人と極楽浄土-ごくらくってどんなところ?-」
7月20日(土) 14:00~ <b>要事前申込</b>	第20回シアター公演 「雨を祈る~京・大和の雨乞い踊り」 出演:紅して踊り保存会、出雲流花踊保存会 解説:八木 透(本学歴史学部教授、本館研究協力者)
7月20日(土)~8月25日(日)	夏期パネル展 「魅惑の仏たち-大阪・孝恩寺の木彫群-
8月25日(日) 14:00~	シアター上映会 「神が子どもたちを贖ける島-甌島(こしきじま)のトシドン- 講演:八木 透(本学歴史学部教授、本館研究協力者)
10月12日(土) ~11月4日(月・祝)	秋期特別展 「明・萬曆版大蔵経の諸相」
11月16日(土) ※時間未定	国際シンポジウム 「シルクロード新疆での世界的文化遺産保護研究と国際協力30年」(仮) コーディネーター:小島 康誉(本学ニヤ遺跡学術研究機構代表)
11月16日(土) ~12月14日(土)	写真パネル展 「シルクロード新疆での世界的文化遺産保護研究と国際協力30年」(仮)
11月16日(土) ~12月14日(土)	秋期企画展 「仏教文化と墨」
11月24日(日) 14:00~ <b>要事前申込</b>	第21回シアター公演 「ここに届く墨の香り」 出演:小林 新一氏(喜壽園園主) 解説:柿本 雅美(本館ポスト・ドクター)

B-ism

2013 June

2012年度に開学100周年を迎えた佛教学は、2013年度、次の100年に向けて、新たな一歩を踏み出しました。紫野キャンパスリニューアル工事も順調に進んでいます。広報誌「B-ism」No.6で紹介しています新1号館は、第II期工事を終え、現在、第III期工事に入っています。事務局の引っ越しが進み、新しくオープンした食堂は、学生や教職員でにぎわっています。今年度は、昨年発表した「佛大Vision2022」の実現に向けて動き出します。今後、広報誌「B-ism」でも、具体化に向けての取り組みを紹介できればと考えています。これからの動きにご注目ください。どうぞよろしくお願いいたします。

佛教学広報課

**B-information**  
みんなの掲示板  
2013年 主な行事予定  
13:00 ~ 14:30

講演会  
社会福祉学部同窓ネットワーク主催  
「第一回夏季大学」  
(講演者) 雨宮処凛氏(反貧困ネットワーク副代表(事前申込)必要(7月頃本学HPに掲載予定))

Date 9/23 (mon. 祝) 13:00 ~ 14:30

平成25年度  
学位記・卒業修了証書授与式(9月卒業修了)

Date 9/29 (sun.)

創立記念日  
Date 10/23 (wed.)

第47回鷹陵祭(学園祭)  
Date 10/29 (Tue.) ~ 31 (Thu.)

ホームカミングデー  
Date 11/3 (sun. 祝)

佛教学の同窓生を対象として開催します。学問に「課外活動」に青春時代を過ごした大学に、ぜひお越しください。

ひらめき☆ときめきサイエンス ~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI 採択事業  
体操名人になろう!

器械運動が苦手な人、器械運動が大好きで  
もっと高いレベルに挑戦したい人、それぞれのレベルに応じて、器械運動の楽しさを実感してもらおう体験教室です。

【開催日時】 8月3日(土)・4日(日) 各日10:00~12:30  
※2日間とも同じプログラムです

【場所】 佛教学紫野キャンパス  
【対象】 小学校5・6年生  
【申込方法】 本学HPでご確認ください

ひらめき☆ときめきサイエンス  
~ようこそ大学の研究室へ~  
KAKENHI  
JSPS日本学術振興会

研究機関で行っている最先端の研究成果について、直に見る、聞く、ふれることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

佛教学オリジナル日本酒 「佛米!夢乃酒」絶賛販売中!!

学生が酒米の田植えから収穫・醸造・ラベルデザイン・販売までを行う酒づくりプロジェクトでつくられた日本酒です。今年も、京都・伏見にある招徳酒造株式会社にご協力いただきました。ぜひご賞味ください。

純米 720ml 1,155円(税込)  
純米無濾過生原酒 720ml 1,365円(税込)  
製造元 招徳酒造株式会社

【取り扱い店舗】  
◆細見酒店 (TEL.075-491-8743)  
※インターネット販売も有り  
http://www6.ocn.ne.jp/~kitaru/  
◆円町 島酒店 (TEL.075-463-7166)  
◆リカー&フーズまたの (TEL.075-781-9010)

読者プレゼントの お知らせ  
佛大オリジナルグッズをプレゼントいたします。同面添付のアンケートハガキにてご応募ください。

佛米!夢乃酒2013 (300ml) 計5名様

オリジナルエコバッグ 計10名様

佛教学公式Facebookページを開設しています!

公式ホームページとともに大学の情報を発信しています。ソーシャルメディアを活用することで、より広く、そして佛教学の今をお知らせします。ぜひご覧ください。

【公式FacebookURL】  
http://www.facebook.com/bukkyo.univ